



にぎわい・活力・地域資源活用プロジェクト ～地域の特性を活かしたまちへ～

(1) 文化・スポーツの振興

事業名	事業概要	事業期間	平成30年度 事業費 (単位:千円)	担当課
レノファ山口とのパートナーシップ事業	スポーツによるまちづくりと市民の一体感醸成のため、山口県唯一のプロスポーツチームであるレノファ山口を活用し、選手とのスポーツ交流事業などを実施する。選手やスタッフ等と市民が交流する場を作ることにより、市民の一体感の醸成、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進する。	H26以前～ H42以降	600	シティセールス課
キャンプ誘致推進補助事業	スポーツ振興、地域の活性化、情報発信等を図るため、東京2020オリンピック競技大会及び東京2020パラリンピック競技大会の競技種目に係るナショナルチームが行うキャンプの誘致を推進する。	H28～ H42以降	1,500	シティセールス課
レノファ山口との連携・支援事業	公共施設等に横断幕やのぼりを設置し、レノファ山口を応援する気運の醸成を図る。また、県立おのだサッカー交流公園の天然芝コートにVTR撮影用架台を設置し、レノファ山口の練習風景を市のホームページに掲載するなど市のPRを図り、交流人口の拡大に努める。	H30～H32	1,592	シティセールス課
現代ガラス展開催事業	故竹内傳治氏の遺志を受け、2001年に第1回「現代ガラス展 inおのだ」を開催した。これを継承し、2004、2006、2009、2012、2015年と開催は6回を数え、「ガラスのまち山陽小野田」の象徴的なイベントとなった。また、若手作家の登竜門コンペとして確固たる地位も築いた。今後もガラス展を継承し、ガラス文化の推進を図る。第7回は平成30年度開催を予定。(3年毎開催)	H26以前～ H42以降	4,300	文化振興課
かるたによるまちづくり推進事業	競技かるたの普及活動を展開し、「かるたのまち山陽小野田」の復活を図る。 ・地域でのかるた教室の開催 ・かるたフォーラムの開催 ・かるた競技大会(県内小中学生大会)を開催する。 これらにより「かるたのまち」を全国に発信し、競技人口や交流人口の増加を図る。	H30～H32	554	文化振興課
かるた文化推進事業	昭和40・50年代には、本市は日本の伝統文化であるかるた競技が盛んで、2人のクイーンを輩出し、「かるたのまち小野田」として、全国的に有名であった。近年、小野田高校にかるた部が新設され、全国大会出場を果たし、再びかるた競技が盛んになっている。本市の「かるたの振興」、「かるたによるまちづくり」を進め、文化振興、交流人口の拡大及び「かるたのまち山陽小野田」を全国発信するため連絡会議を設立する。	H30～ H42以降	52	文化振興課

にぎわい・活力・地域資源活用プロジェクト ～地域の特性を活かしたまちへ～

(2) 山口東京理科大学との連携

事業名	事業概要	事業期間	平成30年度 事業費 (単位:千円)	担当課
山口東京理科大学との連携によるフォーラムの開催	山口東京理科大学の薬学部設置に伴い、薬学部の教授等を講師とし、市・大学・医師会・薬剤師会が連携することにより、市民、市外在住者、医療関係の企業・団体向けにフォーラムを開催し、薬学部を中心とした地域の活性化と健康社会の実現に向けた機運の醸成を図る。	H30～H32	500	健康増進課
山陽小野田市産学官連携推進協議会	平成28年4月に公立化した山口東京理科大学、小野田商工会議所、山陽商工会議所と行政が連携することで、大学の情報シーズと企業ニーズを把握し、マッチングを支援する。企業に対し、山口東京理科大学の研究、技術などを周知し、将来的には共同研究などの橋渡しを行う。	H29～ H42以降	0	商工労働課
「山口東京理科大学シーズ集・事例集」作成・更新事業	H29年度、産学官連携事業を推進するため、山口東京理科大学教員の研究内容をまとめたシーズ集を作成した。H30年度には、新たに薬学部が設立されるため、薬学部教員の研究内容を含めたシーズ集を作成・更新し、市内外の企業に情報発信を行う。また、これまで、理科大と企業が実際に共同して取組んだ事例を掲載し、事業化に向けて躊躇している企業の参考にしてもらうため、事例集を作成し、今後、産学官連携を円滑に進める手段とする。(市は事例集の作成を担当)	H30～H32	300	商工労働課
産学官連携推進フォーラム開催事業	山口東京理科大学の公立化を契機に、さらに産学官連携の取組を進めていく必要があるが、これまで成功例はない。産学官連携について著名な講師を招聘し、市民、企業向けの講演会を実施し、産学官連携推進に向けた意識形成、機運醸成を図る。企業が抱える課題解決に向けた糸口や技術開発につながるヒントとなるものとし、当市の本格的な産学官連携推進を図るためのキックオフ事業とする。	H30	500	商工労働課
山口東京理科大生定住券配布事業	人口減少が進む中、定住人口の確保は市の重要課題である。山口東京理科大学には市内からの進学はもとより市外、県外から多くの学生が入学してくることから、本市の住民基本台帳に登録されている入学者(初年度は住民票をおく学生全員)に対して、インセンティブとして3万円をスマイルシティー定住券(仮称)という形で支給し、本市への定住を促進させるとともに併せて商業振興を図る。当該事業を効率的に実施するため、公立大学法人に委託して実施する。	H30～ H42以降	21,103	商工労働課

にぎわい・活力・地域資源活用プロジェクト ～地域の特性を活かしたまちへ～

(3) 地域経済の活力増進

事業名	事業概要	事業期間	平成30年度 事業費 (単位:千円)	担当課
中小企業支援セミナー	人材確保に苦勞しがちな中小企業者に対し、企業の魅力を伝えられるような求人票の書き方や、効果的な情報発信方法等についてのセミナーを商工会議所と連携して開催することで、中小企業者を支援する。	H30～ H42以降	0	商工労働課
中小企業振興資金等融資事業	中小企業者等を対象とした低利で有利な制度融資を整備するとともに、制度融資の啓発、金融審査会の開催、保証料の補給、金融機関への預託を実施する。	H26以前～ H42以降	181,800	商工労働課
創業応援金交付事業	「山陽小野田市創業支援事業計画」に基づく特定創業支援事業を受けた事業者に対し、支援のための助成金を交付する。創業後1年経過したことを応援金交付要件とする。	H29～ H42以降	200	商工労働課
創業支援事業(個別相談会、支援セミナー等実施事業)	平成28年4月に策定した「山陽小野田市創業支援事業計画」に基づき、創業を希望する方への個別相談、会計処理相談などの各種相談会、創業セミナー等を実施する。また、創業された方に対しても、フォロー体制を整え、事業経営をブラッシュアップする。 商工会議所への委託事業とし、実施事業は市の創業支援事業計画に基づく「特定創業支援事業」と位置づける。	H30～ H42以降	1,000	商工労働課
企業誘致推進特別強化事業	通常の企業誘致業務に加え、小野田・楠企業団地の分譲を促進するための施策を行う。	H29～H37	300	商工労働課